

第70期 定時株主総会 報告事項

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

NIPRO

ニプロ株式会社

事業報告



Copyright 2023 NIPRO All rights reserved.

企業集団の現況に関する事項

事業の経過および成果

日本経済

新型コロナウイルス感染症の各種規制が緩和

➡➡ 経済活動が緩やかに回復

世界経済

経済活動が回復するなか、銀行の破綻など
金融システム不安を招く懸念

➡➡ 景気の先行きは依然不透明

医療機器、医薬品業界

➡➡ パンデミック下で多くの課題が顕在化

●ニプログループの取り組み

国内シェア拡大

海外販売網の拡大

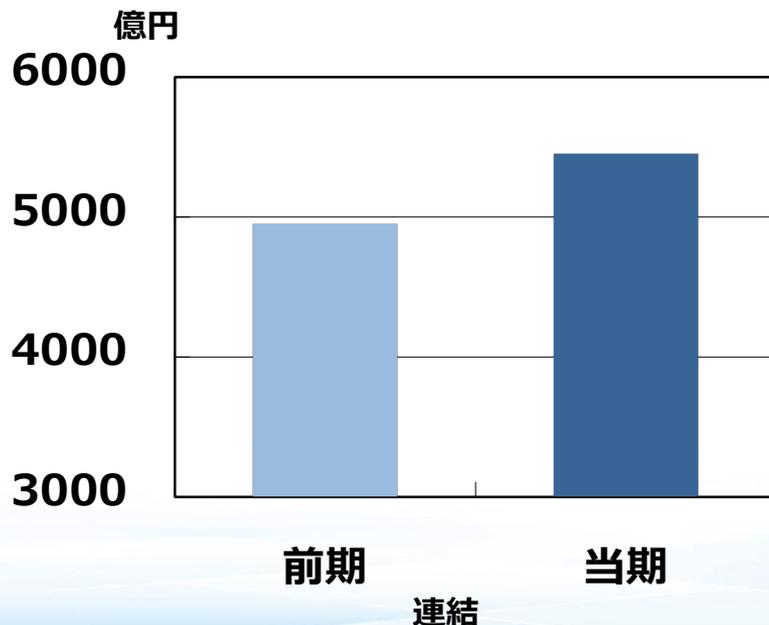
生産コスト低減

ユーザー目線に立った製品開発



業績向上に努める

連結売上高 5,451億99百万円 (前期比10.2%増加)



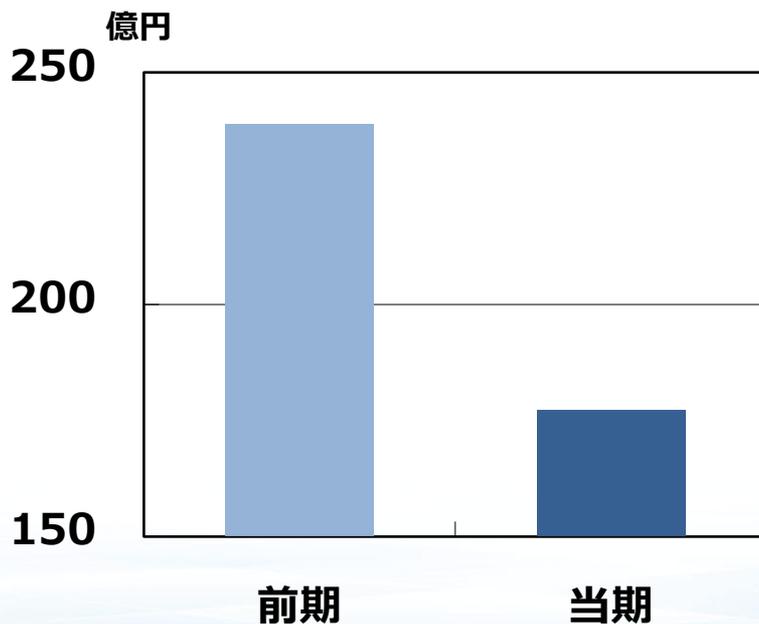
- ・ 円安傾向により海外売上高が伸長
特に透析関連製品、ホスピタル関連製品、
バスキュラー関連製品が売上高増加を牽引
- ・ オーソライズド・ジェネリックである
エソメプラゾールの売上が好調に推移
- ・ 医薬用容器の売上高が好調に推移

- ・ 医薬品受託事業の売上高が若干の減少

単体売上高 3,496億64百万円
(前期比5.6%増)

連結営業利益

177億29百万円 (前期比25.8%減少)



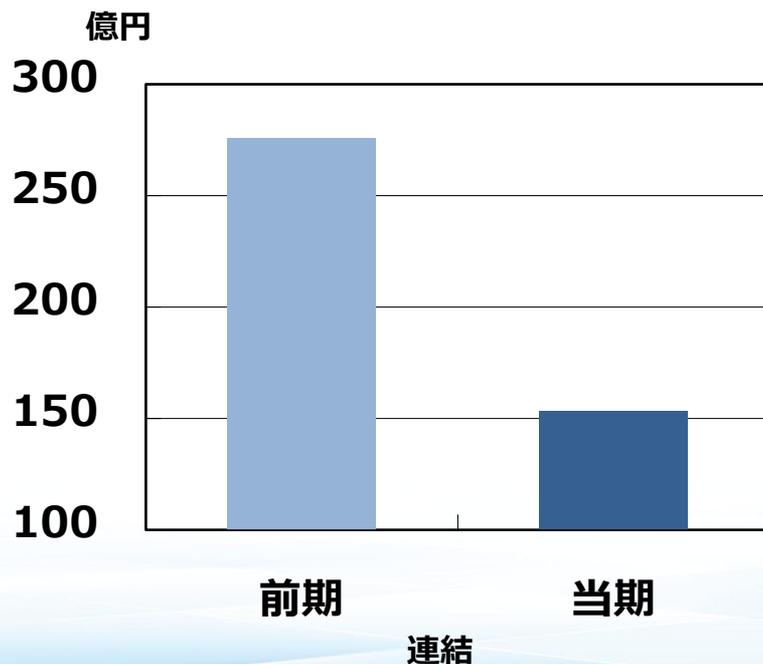
連結

- ・ 原材料・エネルギー価格の高騰
- ・ 輸入原材料等仕入価格の上昇
- ・ 一部工場の稼働率の低下
- ・ 中国上海市のロックダウンに伴う工場操業停止などによる製造原価の上昇
- ・ 運送費の高騰
- ・ 営業活動の正常化に伴う経費増加

単体営業利益 32億51百万円
(前期比72.0%減)

連結経常利益

153億46百万円 (前期比44.4%減少)

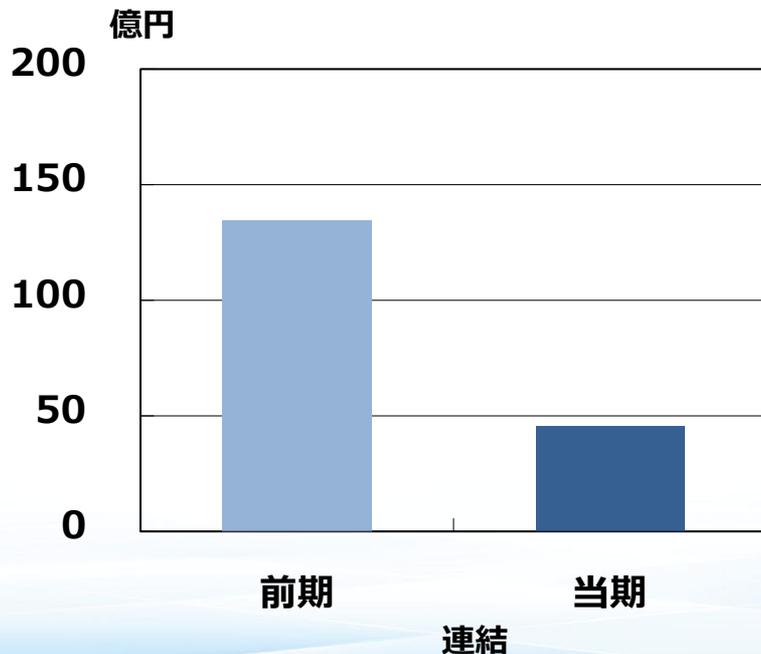


- ・ 上半期に計上した多額の為替差益が下半期に縮減
- ・ 持分法による投資損失の増加
- ・ 子会社における超インフレ会計の適用の影響

単体経常利益 87億4百万円
(前期比50.4%減)

親会社に帰属する当期純利益

45億74百万円
(前期比66.0%減少)



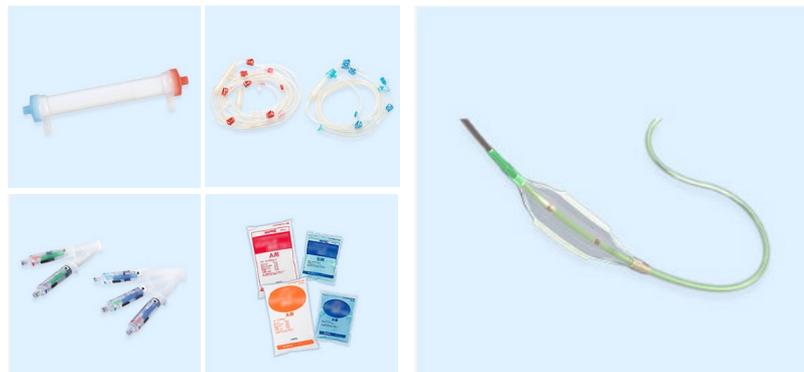
- 一部の所有地や政策保有株式の売却による固定資産売却益および投資有価証券売却益を計上するも前期に比べ大きく減少

単体当期純利益 87億20百万円
(前期比18.8%減)

企業集団の現況に関する事項

セグメント別の概況

● 国内販売 メディカル営業部門



透析関連製品

バスキュラー
関連製品



注射・輸液関連製品



検査関連製品

復調



好調に推移



新型コロナウイルス抗原定性検査キット

好調に推移



● 国内販売 医薬営業部門

丁寧な説明や誠意を持った対応など
真摯に取り組む姿勢が市場の信頼につながる

エソメプラゾールのシェア拡大 

➤ 市場全体を見据え、販売促進に取り組み
認知度および業界内のプレゼンス向上に努める

● 海外販売

➤ 世界各国での販売強化を図る

■ 透析関連商品

中国や欧州でのダイアライザ販売数量の増加等、
各地域での販売が順調に推移 ➤ 前期比増収

■ 透析センター

第4四半期では中国、マレーシア、ブラジルに各1施設、
南アフリカに2施設の計5施設開設 ➤ 地域医療に貢献



● 海外販売

■ 運送費 >> 改善傾向



医療現場のニーズに迅速に対応

>> 売上の拡大、利益の確保に繋げる

● 生産拠点

大館工場 第5工場 火災

負傷者なしの一方、ダイアライザ生産ラインが一部損傷

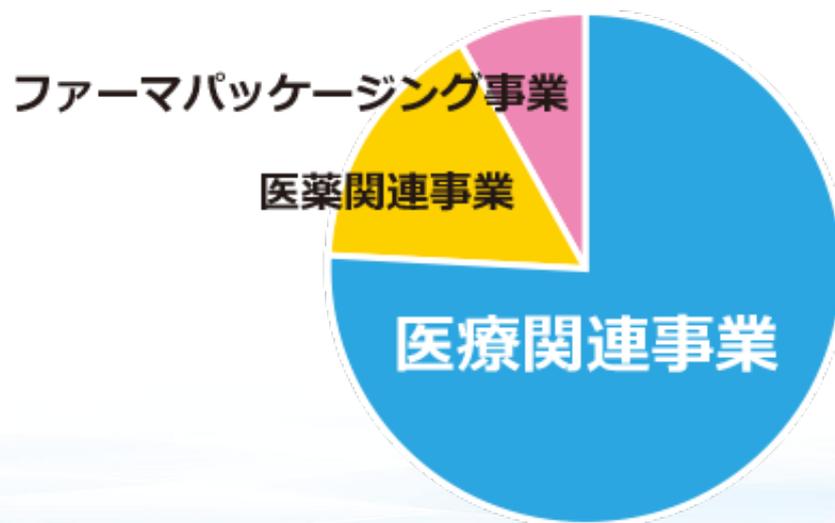
➡ 早期生産再開に鋭意取り組む

合肥工場およびインド工場
においても増産に取り組み
安定供給に努める



医療関連事業の売上高

4,199億57百万円
(前期比12.4%増加)



国内における複数の新規製品の本格的な
出荷・商用化が開始

ニプロJMIファーマにおける順調な売上高伸長



売上高拡大に努める

既存品における受注数量減少や受託製造終了

資材や製造設備のトラブルによる生産数量減少

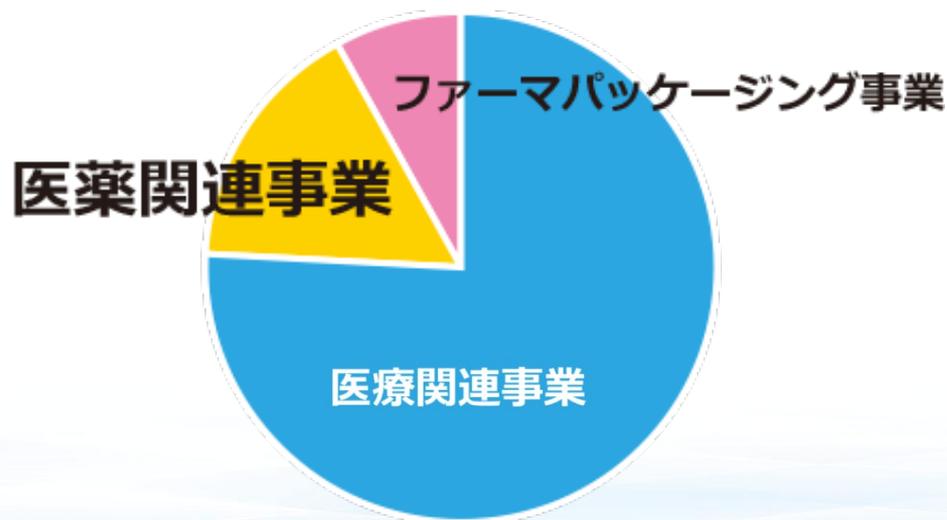


売上高は前期比で微減

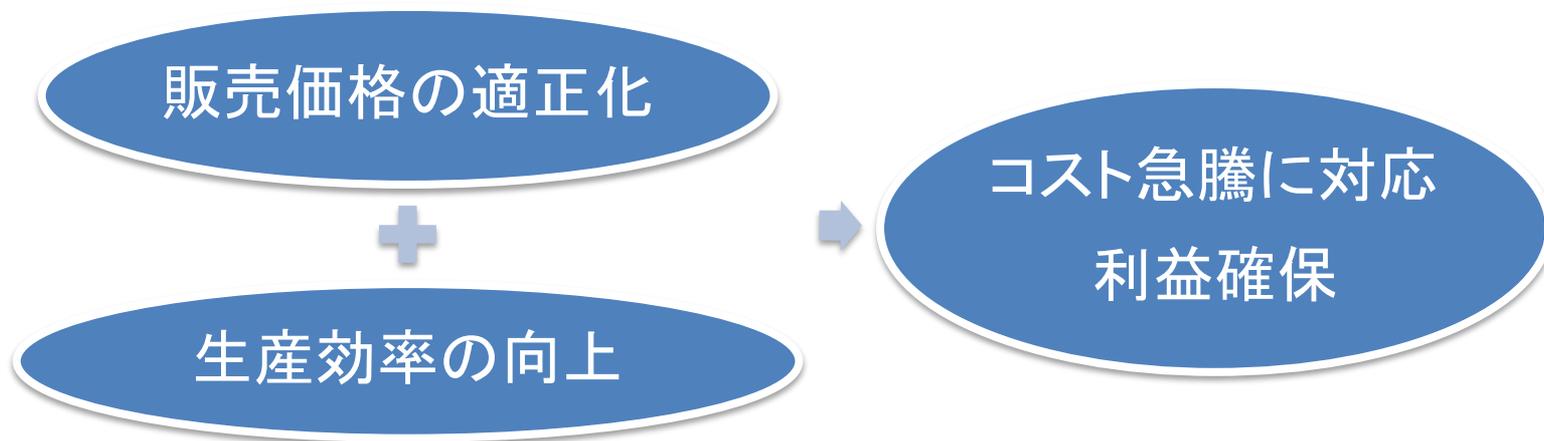


医薬関連事業の売上高

727億34百万円
(前期比2.2%減少)



● 国内外



● 欧米

ガラス管生産能力の大幅増加・積極的な販売促進

➡➡ ガラス包装容器の出荷量伸長

● 中国市場

ゼロコロナ政策解除

➡ 本格的に営業活動を再開、プレゼンスの向上に尽力

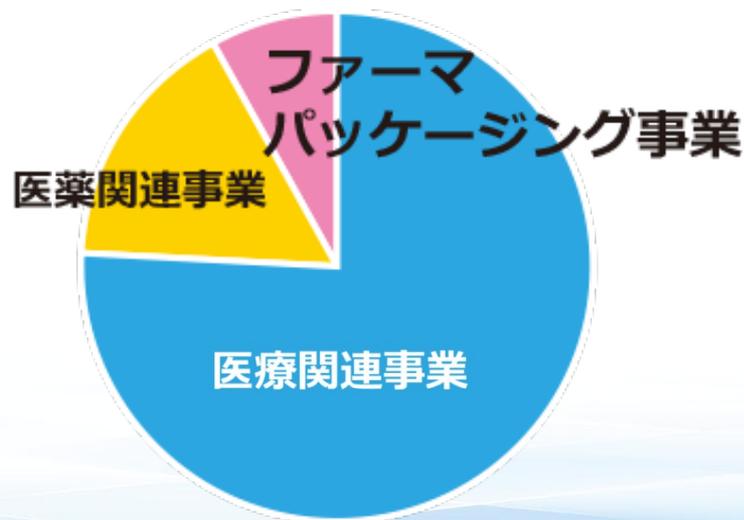
● 日本市場

ガラス関連製品、樹脂バッグ、
ゴム栓、調製デバイスなど
ワンストップソリューションを展開

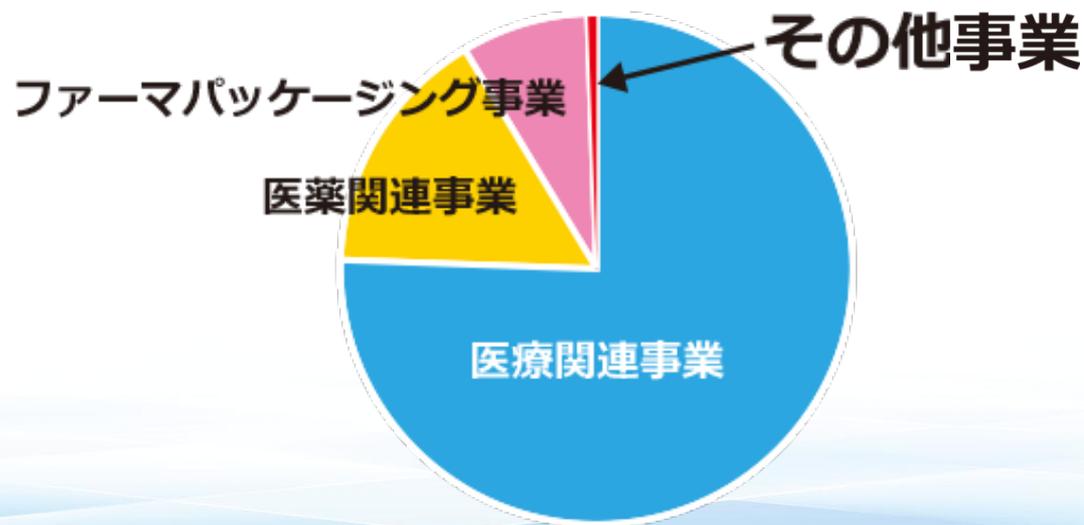
シングルユースバッグ等の
新規品拡販に注力

ファーマパッケージング事業の売上高

517億54百万円
(前期比11.6%増加)



その他事業の売上高 7億52百万円 (前期比34.5%増加)



企業集団の現況に関する事項

設備投資

当期の設備投資



- ニプロ 大館工場 . . . ダイアライザ関連の新工場建設
- ニプロファーマ 近江工場 (仮称)
. . . 注射剤製造工場の建設工事
- ニプロファーマ 伊勢工場 . . . 生産設備の増強
- 新社屋 . . . 本社機能強化
- ニプロメディカルコーポレーション
. . . 透析クリニック開設
- ニプロベトナムカンパニーリミテッド . . . 生産設備の増強
- ニプロファーマパッケージングフランスS.A.S.
. . . 生産設備の増強

総額 1,026億33百万円

企業集団の現況に関する事項

資金調達

当社事業の設備投資、研究開発への充当により、
医療機器・医薬品等の安定供給に取り組み、
世界中の人々の健康とQOL向上に貢献するため



ソーシャルローン

510億円

企業集団の現況に関する事項

対処すべき課題

● 近時の世界経済

先行き不透明

ロシア・ウクライナ情勢は未だ収束せず

世界的インフレーションの継続

銀行の経営破綻を契機とした金融不安の可能性

● 医療関連事業



・医療の安全安心に配慮した設計、
環境への負荷を低減する製品開発



・多様化する市場ニーズ・シーズに
応えられる製品を積極的に市場展開



・医療従事者の働き方改革をDXで支える
ニプロ総合医療ネットワークシステムの普及

● 医薬営業部門

毎年の薬価改定と原材料の高騰により
製薬業界全体の経営環境が悪化

➤ 適正価格での販売を念頭に、医療現場の
ニーズをとらえた提案営業の継続



増産体制の強化
医薬品卸・医療従事者の方々への丁寧な説明と対処

●グローバル市場

医療インフラの整備と医療体制の普及を視野に入れた事業を進めるなか

➤ 新型コロナウイルス感染拡大により感染症に対する脆弱性が全世界で露呈

感染症予防と治療に必要な防護用品・
ホスピタル関連製品の製品ラインナップ
拡充と生産能力の強化を継続

● 医薬関連事業

生産能力の増強・拡充を確実に進め、受託製造の伸長、ジェネリック医薬品供給課題への対処に取り組む



● 医薬関連事業

人員不足に起因する過大な業務
負荷を軽減させるため、
外部機関・他工場へ
試験業務を移管

定められた手順と実作業の齟齬が
起こらないよう、現場で監視する
体制を構築



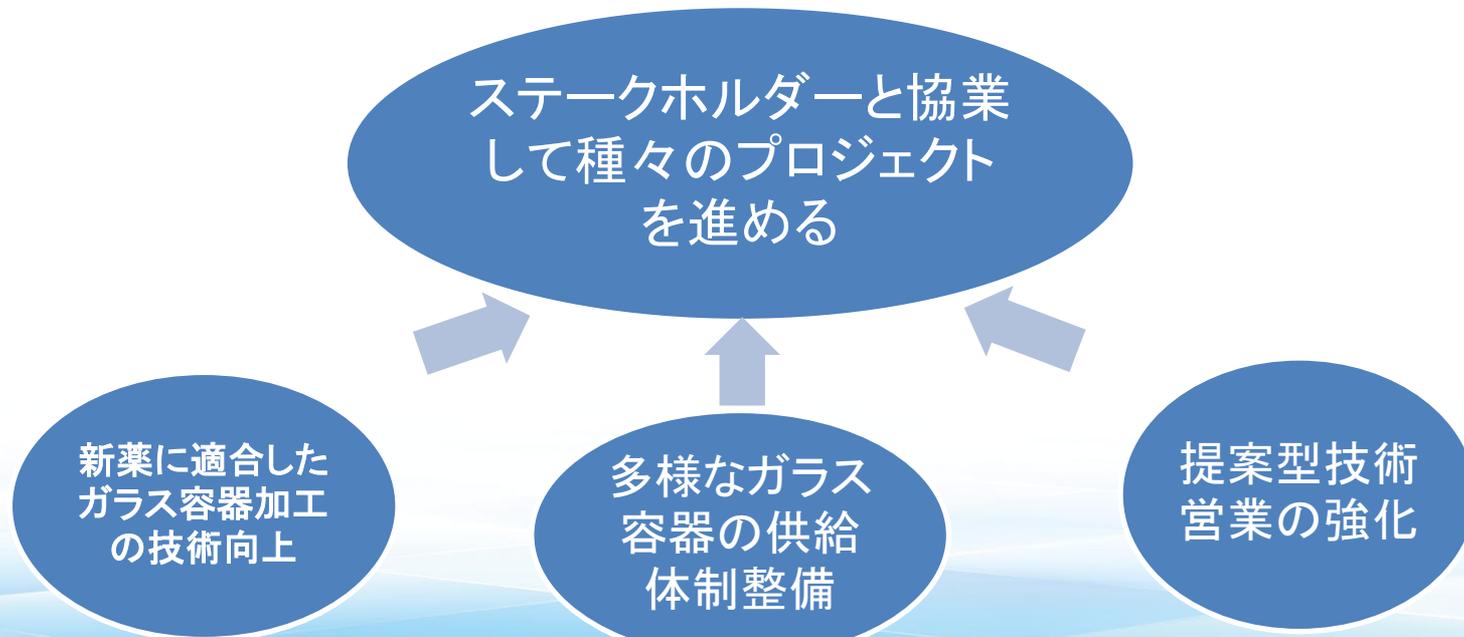
埼玉QC棟 ※2023年6月稼働



大阪QCセンター ※2024年3月稼働

● ファーマパッケージング事業

ガラス包装容器を使用した新薬開発の活発化、
発展途上国における医療水準の向上により
今後も堅調に推移する見込み



●全体

世界各国では医療費抑制、不安定なインフレ動向などが予想される

➤ 引き続き 製造原価の低減に努める

- ・ 材料調達コストの低減
- ・ 労働生産性の向上
- ・ 機械稼働率の最大化
- ・ エネルギー効率の改善
- ・ 各工場内での独自の原価削減計画
- ・ 地域内の横断的なKPI改善活動の積極的な推進

- **その他の企業集団の現況に関する事項**

「財産および損益の状況の推移」 「重要な親会社および子会社の状況」
「主要な事業内容」 「主要な営業所および工場」 「従業員の状況」
「主要な借入先」

- **会社の株式に関する事項**

- **会社の新株予約権等に関する事項**

- **会社役員に関する事項**

- **会計監査人の状況**

上記については当社ウェブサイト掲載の招集通知に記載のとおりです

https://www.nipro.co.jp/assets/document/ir_stock/meeting_70th/notice.pdf#page=21

連結計算書類

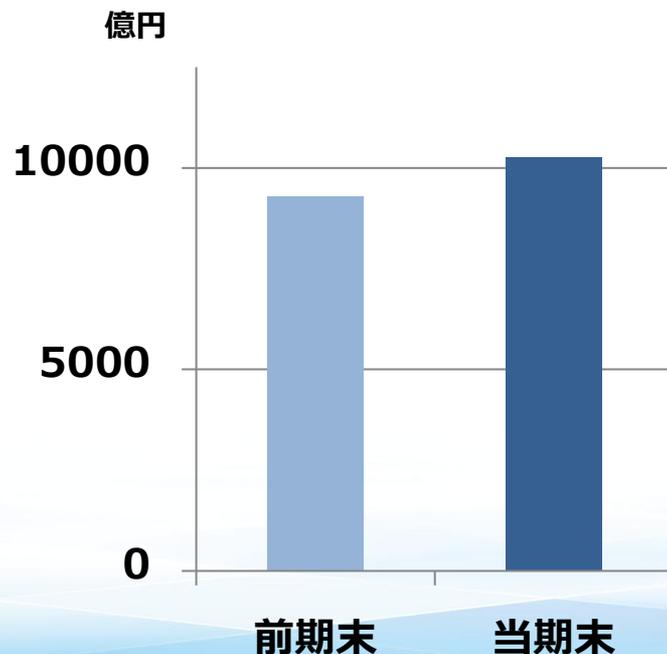


Copyright 2023 NIPRO All rights reserved.

連結貸借対照表

資産合計

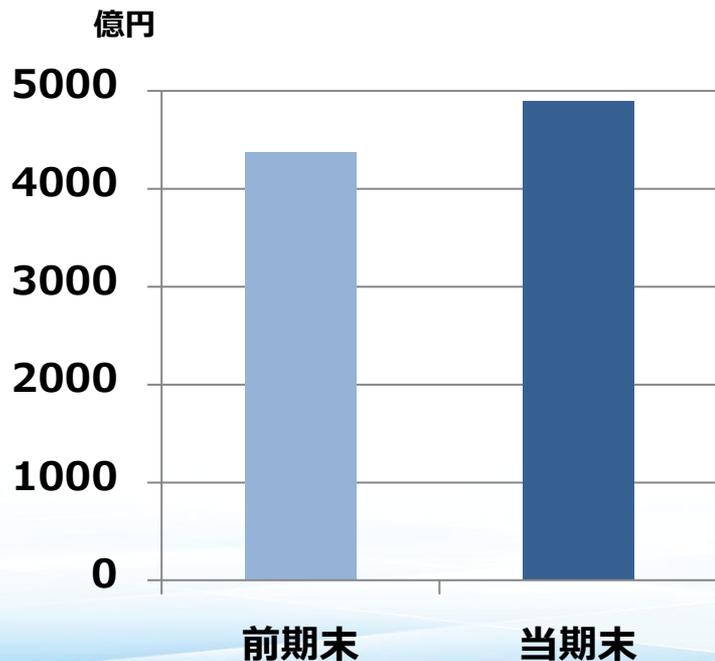
1兆273億99百万円
(前期末比970億78百万円の増加)



流動資産

4,892億89百万円

(前期末比518億30百万円の増加)



増加要因

受取手形および

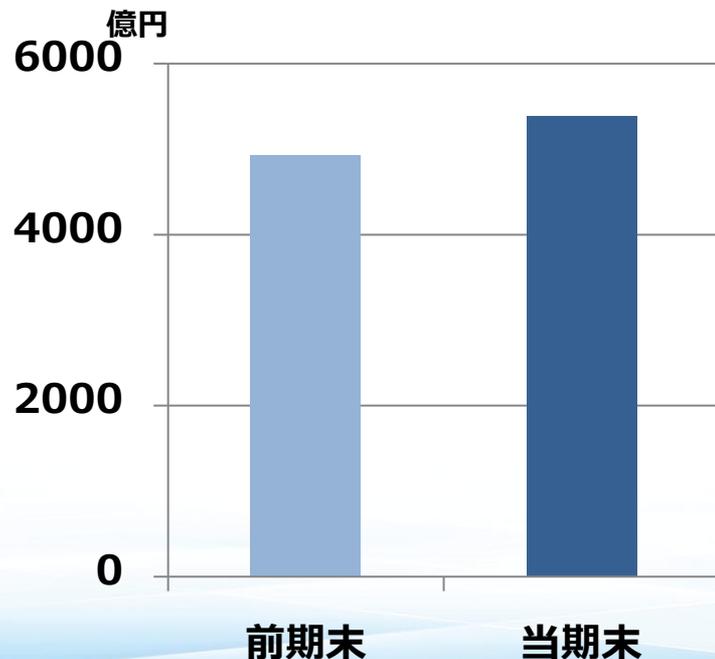
売掛金

199億86百万円 ↗

固定資産

5,381億9百万円

(前期末比452億47百万円の増加)



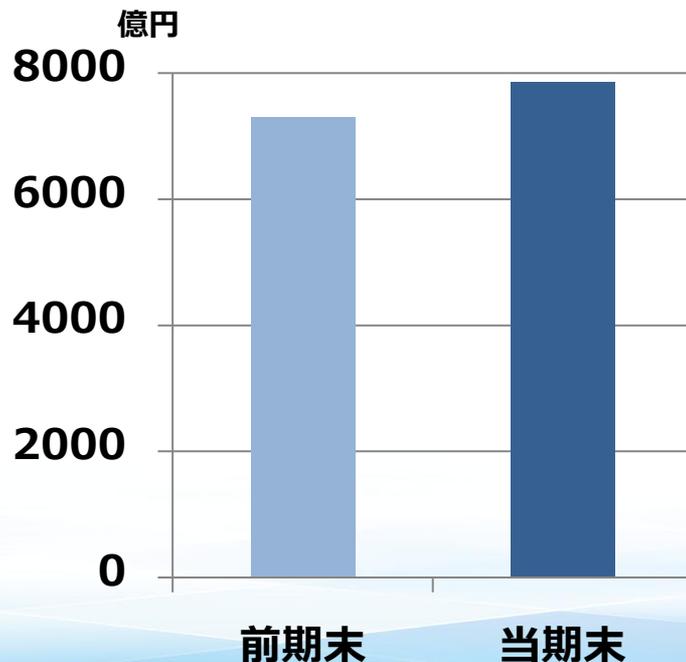
増加要因

建設仮勘定

330億54百万円 ↗

負債合計 7,852億25百万円

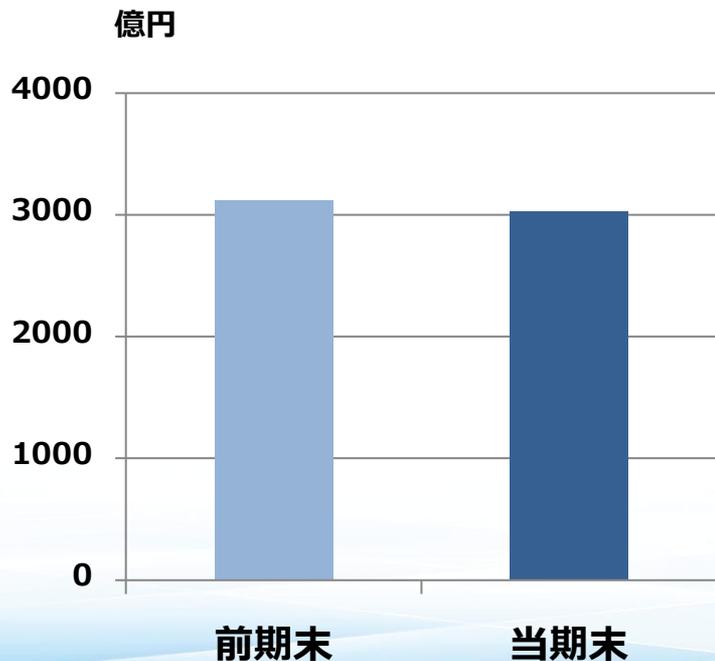
(前期末比547億71百万円の増加)



流動負債

3,029億10百万円

(前期末比90億83百万円の減少)



減少要因

短期借入金

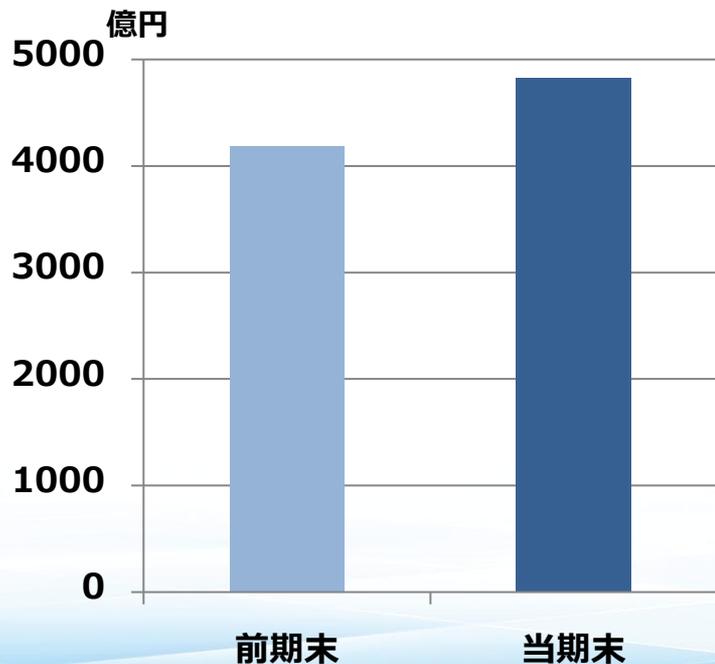
201億5百万円



固定負債

4,823億15百万円

(前期末比638億55百万円の増加)



増加要因

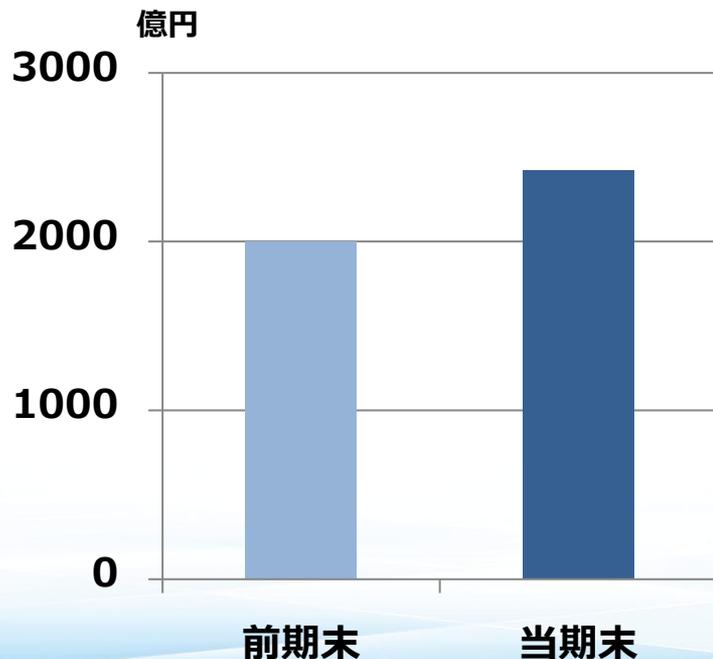
長期借入金

498億41百万円



純資産合計 2,421億73百万円

(前期末比423億6百万円の増加)



株主資本

8億53百万円 ↗

その他包括利益累計額

202億724百万円 ↗

連結損益計算書

事業の経過および成果に記載の通りです

計算書類

当社ウェブサイト掲載の招集通知に記載のとおりです

https://www.nipro.co.jp/assets/document/ir_stock/meeting_70th/notice.pdf#page=39



招集ご通知に際しての電子提供措置事項

- ・事業報告の業務の適正を確保するための体制および当該体制の運用状況の概要
- ・連結計算書類の連結株主資本等変動計算書
- ・連結計算書類の連結注記表
- ・計算書類の株主資本等変動計算書
- ・計算書類の個別注記表

当社ウェブサイトに掲載のとおりです

https://www.nipro.co.jp/assets/document/ir_stock/meeting_70th/electronic_provision.pdf

会計監査人および 監査役会の連結計算書類監査結果報告

当社ウェブサイト掲載の招集通知に記載のとおりです

https://www.nipro.co.jp/assets/document/ir_stock/meeting_70th/notice.pdf#page=41